

令和2年度の事業報告書

NPO 法人生体機能探査推進機構

1 事業の成果

継続した事業として、研究・発表及びセミナーの開催を実施した。本年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、オンラインでの実施を積極的に推進し、好評のうちに終了した。次年度も状況に応じ、開催方法を検討し、継続して実施を行う。ホームページの運用を継続して実施し、合わせて SNS 等の積極的な広報活動を行い、生体機能分野の普及啓発を実施し、閲覧数の向上が見られた。

また、論文図書の発行及び法人機関誌の発行を行った。今後も継続して実施する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) ヒトの生体機能及びその関連分野の研究・発表事業	国際学会「Biofunctional Finding Conference 3 (B-CON3)」を開催。	10/10～11	WEB	3人	不特定多数 (ホームページ)
(2) ヒトの生体機能及びその関連分野の論文図書等の発行事業	論文雑誌「Journal of Biofunctional Finding」(ISSN 2434-7698)を発行。	5/31 10/29	事務所	3人	不特定多数 (ホームページ)
	論文雑誌「The Humanic Science Abstract」(ISSN 2436-1089)を発行。	12/24	事務所	3人	不特定多数 (ホームページ)
	法人機関誌「生体機能探査」の発行。	4/30、6/30 8/28、10/31 12/16	事務所	2人	不特定多数 (ホームページ)
(3) ヒトの生体機能及びその関連分野の普及啓発事業	ホームページの運用を行い、法人情報の公開及び発信。	随時	事務所	1人	不特定多数 (ホームページ)
	セミナー「T-CON3」を千葉県幕張地区で開催。	3/15	千葉県	1人	18人